

## 2013年度春季 インターンシップ 募集のお願い

**期 間**：2014年2月上旬から2月中旬  
**実 習**：上記期間中の2週間(実働10日間)  
**待 遇**：「通勤費」「手当」「食費」について、原則として支給していただくことなく結構です。  
**保 険**：インターンシップ実施期間中の事故(通勤および実習中)については、本学で学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険に加入しています。

**募集学年・学部**：全学年・全学部の学生を対象としています。(春季は1~2年生対象)

**募 集 方 法**：本学キャリアセンターが、受け入れ企業・団体一覧を学生に開示。参加を希望する学生には、希望の実習先や参加動機、実習目標、自己PRなどを記入する「インターンシップ参加申込書」(本学所定様式)を提出させます。

**学 生 の 選 考**：本学教職員が面談・選考いたします。

**誓 約 書**：実習期間に知り得た機密および個人情報の秘守義務を順守するため、実習生は誓約書を提出します。

**覚 書 の 締 結**：企業・団体と本学との間で、インターンシップの実施にかかる取り決め事項の確認をいたします。

インターンシップ受け入れの詳細は、名古屋学院大学 キャリアセンターまでお問い合わせください。

連絡先：名古屋学院大学 キャリアセンター TEL(052)678-4090 インターンシップ担当:新藤 E-mail:career@ngu.ac.jp

### ● 企業のPR効果

参加学生による口コミ、キャリアセンターからの学生への宣伝、告知力があります。

### ● 優秀な人材の確保

学生の資質や特徴を見極める方法や基準づくりの参考になります。

### ● 職場の活性化

若手社員の研修としての位置づけ、学生による業務改善点の指摘などが見込めます。

### ● 大学とのコミュニケーションの構築

大学・学生への貴社認知度の向上は、採用活動にも有益となります。



### インターンシップとは

学生が企業等において就学体験を行う制度です。産業の活性化とそれに伴う教育の改革を視野に入れたインターンシップは今、産業界および教育現場の熱い注目を集めています。

## 2014年度 求人のおお願い

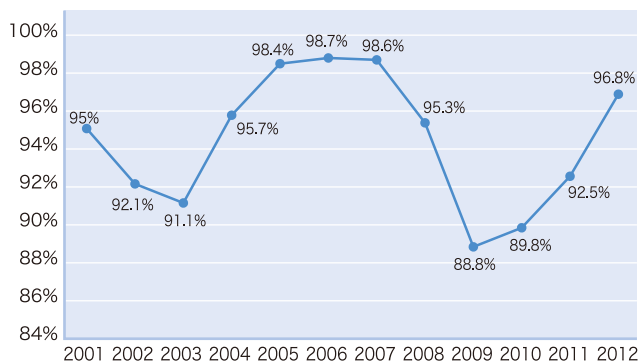
12月より、2015年3月卒業予定学生(現3年生)の就職活動がスタートします。現在の就職状況は、別添の「就職決定率推移グラフ」を見ると、2008年度のリーマン・ショックの影響で2009年度の就職内定率88.8%が近10年で最低を記録しました。2010・2011・2012年度では徐々に回復傾向にあり、もう少しでリーマン・ショック前の状態に回復するところまで来ております。また、「求人社数推移グラフ」を見ても、リーマン・ショックで激減した2009・2010年度求人社数、更に2010年度では東日本

大震災の影響もありました。2011・2012年度では順調に回復してきておりますが、リーマン・ショック前の状況には戻っておりません。

こうしたことから、同窓生の皆様にご協力いただき、お近くで求人のお話があればぜひともご紹介いただければ幸いです。何卒、後輩たちのためによりしくお願いいたします。

連絡先：  
名古屋学院大学 キャリアセンター TEL(052)678-4090  
同窓会担当:神野 E-mail:career@ngu.ac.jp

### ◆ 就職内定率推移グラフ



### ◆ 求人社数推移グラフ

